

タイ福音書の王の務めに関するいくつかの重要な段落			
マタイ 1:1 イエス・キリストの系図の書. 彼はダビデの子であり、アブラハムの子である。			
MSG1	務めの開始	4:12~	4:16 暗やみの中に座っている民は、大いなる光を見た
MSG1 MSG2	務めの継続	8:1~	8:9 わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下にも兵卒たちがいて
MSG2	務めの拡大	9:53~	9:36 彼は群衆を見て……牧者のいない羊のように
MSG3	勝利、 復活、統治	28:1~	28:18-20 天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている。……すべての諸国民を弟子とし…

MSG3 すべての諸国民を父と子と聖霊の名の中へとバプテスマすることによって、 彼らを弟子とする	
宣告する	マタイ 28:18 イエスは来て、彼らに語って言われた、「天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている。
命じる	マタイ 28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、 <b>Go therefore and disciple all the nations, baptizing them into the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit,</b>
約束する	マタイ 28:20 わたしがあなたがたに命じておいたことを、すべて守るように教えなさい。見よ、わたしはこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる。で、日々あなたがたと共にいる。

MSG3 すべての諸国民を父と子と聖霊の名の中へとバプテスマすることによって、 彼らを弟子とする				
宣言する	I	「天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている」	A	権威の源
			B	権威の二つの面
			CD	主に与えられた権威
命じる	II	「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」	A-C	行って、すべての諸国民を弟子とする
			D-E	バプテスマする(終わらせ、結合する)
			F	名 (パーソン、であるすべて)
			G	父、子、聖霊
約束する	III	「わたしがあなたがたに命じておいたことを、すべて守るように教えなさい。見よ、わたしはこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」	A	教える
			B-E	共にいる
			F	この時代の満了

[朝ごとの食物]

日	段落	流れ	主題	要点
D1	宣告	権威	天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている	権威の源と権威の二つの面の認識 いっさいの権威が主に与えられた
D2	命じる	行く	だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、	だから、(あなたは)行って すべての諸国民を弟子とする
D3		浸す (バプテスマ)	父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして	バプテスマは、悔い改めた人々を彼らの古い状態から新しい状態へともたらすことです 「中へと」とは、結合を示しています。それは三一の神であるすべての中へと浸し込むことです
D4		名	神聖な三一の名の中へとバプテスマして王国の民とする	マタイは福音を王国の方法で提示した バプテスマは悔い改めた人を王国の民とする
D5		父子霊	王国の構成のため神聖な三一の実際	王の出生、油塗りと務めにおいて神聖な三一を見る 父と子と霊の実際の中へとバプテスマされることは、天の王国の構成のためです
D6		約束	時代の満了まで、日々共にいる	主はこの時代の満了まで、日々わたしたちと共におられる 主は日々わたしたちと共にいる この時代の満了まで

すべての諸国民を父と子と聖霊の名の中へとバプテスマすることによって、  
彼らを弟子とする  
聖書：マタイ 28:16-20

### 宣言する

天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている

I. 「天においても地においても、いっさいの権威がわたしに与えられている」——マタイ 28:18 :

\* 権威の源：神ご自身の存在から出てきたものです

A. 神は至高の権威を持っています。ですから、彼はいっさいの権威を持っています——ローマ 9:20-21 :

1. 権威は、神ご自身の存在から出てきます——啓 22:1。
2. いっさいの権威（政府のもの、地位上のもの、霊的なもの）は、神から生じます（⇒出て来たものです）——創 9:6. ローマ 13:1-7. ヨハネ 19:10-11. II コリント 10:8. 13:10。

権威のギリシャ語は EXOUSIA : EXは「から出て来る」、OUSIA「存在、であるもの、(being)」を意味しています。ですから権威の意味は、神ご自身の存在から出て来たもの、です。

\* 霊的な権威には、二つの面(積極的面と消極的面)があります

B. 霊的な権威には、二つの面があります :

1. 積極的な面は、聖徒たちに仕え、彼らを牧養し、彼らに供給し、彼らを建造することです——マタイ 20:25-28. 2:6. 24:45. II コリント 10:8。
2. 消極的な面は、敵と敵に関する事柄とを対処することです。

\* 主に与えられた権威:

C. 主は彼の神性にあって、神のひとり子として、すべての上に権威を持っていました——マタイ 28:18。

D. しかしながら、彼の人性にあって、人の子として、また天的王国の王として、天と地における権威は、復活の後、彼に与えられました。

### 命じる

II. 「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」——マタイ 28:19 :

**A-C だから、行って、すべての諸国民を弟子とし**

\* だから行って:

A. いっさいの権威が彼に与えられたので (18 節)、天の王は彼の弟子たちを、すべての諸国民を弟子とするために遣わしました。

B. 弟子たちは彼の権威をもって行きます。

\* 諸国民を弟子とする:

C. 諸国民を弟子とすることは、彼の王国の設立のために、異教徒を王国の民とすることです。その王国とは今日、この地上における召会です。

**D-E 彼らをバプテスマして**

バプテスマする(浸し込む): 終わらせる、結合する

D. バプテスマは、悔い改めた人々を彼らの古い状態から新しい状態へもたらすことです。これは、彼らの古い命を終わらせ、キリストの新しい命を彼らに発芽させることによってであり、彼らが王国の民となるためです。

E. 「の中へと」は、ローマ第 6 章 3 節、ガラテヤ第 3 章 27 節にあるように、結合を示します:

1. 同じギリシャ語が、使徒第 8 章 16 節、第 19 章 5 節、I コリント第 1 章 13 節、15 節で用いられています。

2. 人々を三一の神の名の中へとバプテスマするとは、彼らを彼との霊的で奥義的な結合の中へともたらすことです

**\*名： パースン、(神)であるすべて**

F. 神聖な三一に対して一つの名があります：

1. その名は神聖な方の総合計であり、彼のパースンに等しいです。
2. 人を三一の神の名の中へとバプテスマするとは、彼を三一の神であるすべての中へと浸し込むことです。

新約には三つの異なる前置詞がバプテスマと主の関係を描写するのに用いられている (回復訳 使徒行伝 2:38 のフットノートより)	
En, …の中で (領域)	使徒 10:48 <u>イエス・キリストの御名の中で</u> バプテスマされるようにと、彼らに命じた。 be baptized in イエス・キリストの御名の中でバプテスマされるとは、イエス・キリストの御名の領域の中でバプテスマされることです。その中に、バプテスマの実際があります。
Eis, …の中へと (結合)	マタイ 28:19 <u>父と子と聖霊の名の中へ</u> と彼らをバプテスマして (使徒 8:16、19:5、ローマ 6:3、ガラ 3:27) baptizing them into 父と子と聖霊の名の中へと、あるいは主イエスの御名の中へとバプテスマされるとは、三一の神の具体化である、すべてを含むキリストとの霊的結合の中へとバプテスマされることです。
Epi, …の上に (土台、立場)	使徒 2:38 悔い改めなさい… <u>イエス・キリストの御名の上に</u> バプテスマされなさい be baptized upon イエス・キリストの御名の上にバプテスマされるとは、イエス・キリストの御名によって表されるものの土台の上にバプテスマされることです。キリストの御名は、イエス・キリストのパースンのすべてと、彼が成し遂げられたすべてを表し、その両方が、神の新約エコノミーのその信仰を構成します。

**\*父と子と聖霊の名の中へと**

G. マタイによる福音書は、王国の構成のために、父、子、霊の三者すべてに対する一つの名を与えることによって、神聖な三一の実際を明らかにしています：

1. マタイによる福音書の開始 (第一) の章で、聖霊 (1:18)、子なるキリスト (18 節)、父なる神 (23 節) が、人なるイエス (21 節) を生み出すためにいます。この人なるイエスは、エホバ・救い主、神われらと共にいます方として、まさしく三一の神の具体化です。
2. 第 3 章でマタイが提示する光景において、御子は開かれた天の下で、バプテスマの水の中に立っており、その霊ははどのように御子の上に下り、御父は天から御子に語りかけました——16-17 節。
3. 第 12 章では、御子は人のパースンの中で、その霊によって悪鬼どもを追い出し、父なる神の王国をもたらしました——28 節。
4. 第 16 章では、王国の命脈である召会を建造するために、御父は御子を弟子たちに啓示しました——16-19 節。
5. 第 17 章では、御子はかたちが変わり (2 節)、御父の喜びの言葉 (5 節) によって確認され、王国の実現の縮図を展覧しました (16:28)。
6. 最終的に (28 章)、マタイによる福音書の終わりの章で、キリストは最後のアダムとして、十字架の手順を経過し、復活の領域の中へと入り、命を与える霊と成った後、復活の雰囲気と実際の中で弟子たちの所に戻って来て、異教徒を神聖な三一の名、パースン、実際の中へとバプテスマすることによって、彼らを王国の民とするようにと弟子たちに命じました。
7. マタイによる福音書によれば、父と子と霊の実際の中へとバプテスマされることは、天の王国を構成するためです。
8. 地上の社会とは異なり、天的王国は、肉と血から成る人で形成されることはできません (参照、I コリント 15:50)。それは、三一の神との結合の中へと浸し込まれ、彼らの中へと造り込まれた三一の神で確立され建造されている人々によってのみ、構成されることができず。

G マタイによる福音書は、王国の構成のために、父、子、霊の三者…対する一つの名…によって、神聖な三一の実際を明らかにしています：		
1章	王の出生	聖霊、子なるキリスト、父なる神が、人なるイエスを生み出す
3章	王の油塗り	御子はバプテスマの水の中に立って、その霊はどのように御子の上に下り、御父は天から御子に語りかけた
12章	悪鬼を追い出す	御子は人の身分（パースンの中）で、その霊によって悪鬼どもを追い出し、 <b>父なる神の王国をもたらした</b>
16章	召会の建造	召会（ <b>王国の命脈</b> ）を建造するために、御父は御子を弟子たちに啓示した
17章	王国の縮図	<b>王国の実現の縮図</b> を展覧するために（16:28）、御子のかたちが変わり（2節）、御父の喜びの言葉（5節）によって確認された
28章	王国の民を構成する	異教徒を神聖な三一の名、 <b>パースン</b> 、 <b>実際の中へとバプテスマすることによって、彼らを王国の民とする</b> ようにと弟子たちに命じた
このように父と子と霊の実際の中へとバプテスマする（浸し込む）ことは、 <b>天の王国を構成するためです</b>		

### 約束する

主はこの時代の満了まで、日々わたしたちと共におられると約束されました

Ⅲ. 「わたしがあなたがたに命じておいたことを、すべて守るように教えなさい。見よ、わたしはこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」——マタイ 28:20：

### A 教える

\*主が命じたことを、すべて守るように信者に教える

A. 主が命じたことを、すべて守るように信者に教えることは、すべての諸国民を弟子とするためです——19節。

### B-E 共にいる

\*共にいる：主が生まれた時、わたしたちが集まる時、そして日々、共におられます

B. 天の王は、インマヌエル、神われらと共にいます——1:23。

C. ですから、わたしたちが彼の御名の中へと集められている所はどこであれ、彼はわたしたちの間にいます——18:20。

D. そのような方として、彼は彼の信者たちから決して離れることはできませんし、また決して離れようとしません。

E. マタイによる福音書は、主がインマヌエルとして、戻って来る時まで絶えず、その民と共におられる天の王であることを証明します

### F この時代の満了

F. この時代の満了は、この時代の終わり、すなわち、主のバルシーア（主の来臨）の時です：

\*「満了（終わり）」の意味は、完成または実現にもたらされる過程があることです。この時代の満了（終わり）は、この世の終わりを指しているではありません。

1. 「満了」という言葉は、完成または実現にもたらされる過程があることを意味します。

\*「この時代」は、

現在の時代（召会時代）の終わりを示し、召会時代（恵みの時代）の完了を示します。マタイ第24章6節で語られている「終わり」は、この時代の満了（終わり）であり、それは大患難の三年半（第七十週の後半）となります。

2. マタイ第28章20節で、「この時代の満了」は、この現在の時代（召会時代）の終わりを示します。

3. この時代の満了は、大患難の三年半となります——ダニエル 12:4, 6-7, 9。

4. マタイ第24章6節で語られている「終わり」は、この時代の満了であり、それは大患難の三年半（第七十週の後半）となります。

5. この時代の満了は、この世の終わりではなく、召会時代（恵みの時代）の完了です。この時代は、完了にととても近づいています。

6. 主が約束したことは、主が復活の中で、この時代の満了まで、すなわち、この時代の終わりまで、日々、いっさいの権威を伴って、わたしたちと共におられるということです。

まとめ  
すべての諸国民を弟子とする

行って	王国の福音を宣べ伝える	主に遣わされて、彼の権威をもって行く
バプテスマし (浸し込まれる)	人を再構成する	人が神聖な三ーと結合され構成される
教える	人を教え、牧養する	使徒たちの教えを守ることは主が命じられたことです